

平成29年度(2017)

公益財団法人 出雲市芸術文化振興財団

**事業計画**

# 目 次

平成 29 年度 (2017) 事業計画	P1
<b>I 公益目的事業</b>	P2
<b>1. 芸術文化振興事業</b>	P2
(1) 出雲総合芸術文化祭事業	P2
(2) 出雲芸術アカデミー事業	P3
(3) 出雲メセナ協会事務局に関する事務	P5
<b>2. 博物館事業</b>	P5
(1) 展示事業	P5
① 出雲文化伝承館 ② 平田本陣記念館	
(2) 出雲和文化交流会事業	P8
(3) 郷土資料調査活用事業	P8
(4) 呈茶事業	P8
(5) 文化財保存公開事業	P8
(6) 共催事業	P9
<b>3. 貸館事業</b>	P9
(1) 出雲市民会館	P9
(2) ビッグハート出雲	P9
(3) 平田文化館	P10
(4) 大社文化プレイスうらら館	P10
(5) 出雲文化伝承館	P10
(6) 平田本陣記念館	P11
(7) 管理施設の概要	P11
<b>II 収益事業</b>	P13
<b>1. 貸館事業</b>	P13
(1) 出雲市民会館	P13
(2) ビッグハート出雲	P13
(3) 平田文化館	P13
(4) 大社文化プレイスうらら館	P13
(5) 出雲文化伝承館	P13
(6) 平田本陣記念館	P13
<b>2. チケット販売等物販事業</b>	P13
<b>3. 大社図書館管理運営事業</b>	P13

## 平成 29 年度(2017)事業計画

公益財団法人出雲市芸術文化振興財団は、平成 25 年度に公益法人となり平成 29 年度新法人移行後 5 年目を迎えました。本年度も芸術文化振興事業、博物館事業及び指定管理施設 6 施設の貸館・管理運営事業の公益事業を中心に、出雲市における芸術文化振興のため中核を担う公益法人として務めを果たしてまいります。

まず、芸術文化振興事業は、「音楽のまち 出雲」の実現を目指しながら、平成 27 年度から 3 年間継続採択を受けている文化庁の「劇場・音楽堂等活性化事業」に係る支援を活用し、

- ・連作交響神楽の第 2 弾を柱に、日本発の交響神楽を未来と世界に放つ「出雲の春音楽祭 2018」

鑑賞事業では、

- ・能・狂言 (仮称) 万作の会

など、新たな試みとして歌舞伎に替わる古典芸能の継承発展を目的とした和楽の舞台・狂言会を実施するほか、次世代鑑賞者の育成等多様な事業に取り組みます。

出雲芸術アカデミーについては、講座運営や、アウトリーチ活動、演奏会などを通して芸術文化を学ぶ機会を提供しつつ次世代の芸術文化の担い手の育成に努めます。

また、博物館事業では、出雲文化伝承館と平田本陣記念館両館合わせて 12 回の展覧会を開催し、伝承館では、出雲市と友好交流都市である津山市、諫早市と市民レベルでの文化交流を深めるための「三市交流展」や、本陣記念館では、イラストレーターとして著名な「水森亜土展」など幅広い分野の優品を紹介します。

さらに、和文化交流会事業、各教室、講座など、多くの事業を実施しながら出雲地方の文化の伝承に取り組みます。

次に、貸館事業については、ホール系 4 施設及び展示系 2 施設において、出雲市から平成 32 年度まで指定管理者の指定を受けており、各館の特色を十分に活かし、館の連携と総合力で利用者の要望に的確にお応えし、適切な管理運営を行います。

他方、芸術文化振興事業(総合芸術文化祭)及び展示事業などソフト事業については、昨年度から市の施設の指定管理事業ではなく市の単年度毎の負担金事業となっており、今後、専門性を高めるとともに、スクラップアンドビルドなどにより真に必要な事業を見極め、安定した事業運営と責任ある経営を目指します。

## I 公益目的事業

### 1. 芸術文化振興事業

当財団の公益目的事業の中心となる芸術文化振興事業については、所管する施設を中心に市民の鑑賞機会の提供、市民文化活動の育成・支援など幅広い取組により芸術文化の普及・推進を図ってまいります。

事業実施にあたっては、文化庁の劇場・音楽堂等活性化事業の助成（H27～29年度継続採択）を活用し、出雲の春音楽祭、出雲フィルハーモニー交響楽団定期演奏会、出雲伝統芸能プロデュース公演等の自主事業の拡充を図ります。

また、出雲芸術アカデミーは、安定的な運営に努め、充実した講座内容による人材育成事業及び出前講座（アウトリーチ活動）、アートマネジメント研修による普及啓発事業を積極的に展開します。

#### (1) 出雲総合芸術文化祭事業

鑑賞事業は、「本物志向」の観点から多様で優れた舞台芸術の鑑賞機会を提供します。次世代鑑賞育成事業では、子どもたちの豊かな感性と創造性を育み、鑑賞能力の向上を目指した公演を、古典芸能事業では、伝統的な舞台芸術の素晴らしさを能、狂言、落語等を上演し、鑑賞者の開拓及びリピーターの確保につなげます。特に、古典芸能事業では、出雲初上演となる野村万作・萬斎親子による狂言の公演が実現し、独特な滑稽味を劇化した狂言の世界を堪能できる、またとない機会として、幅広い層の鑑賞を期待しています。各事業とも、顧客の満足度を高めることはもとより、広報宣伝、チケットの設定等についても創意工夫により集客率の向上、収入の確保に努めます。

自主事業では、「出雲の春音楽祭」において、平成28年度に始動した委嘱作品「連作交響神楽」の第2弾を管弦楽と児童合唱による演奏でお届けするとともに、コンサート形式によるオペラハイライトを上演します。また、一昨年に引き続きプロの舞踊家と地元舞踊家による日本舞踊の舞台の魅力に触れていただく「出雲伝統芸能プロデュース公演2017」に取り組みます。

一方、地元住民等を中心とする実行委員会による自主事業については、継続的な取組の蓄積を活かしつつ、点検や評価によりさらなる事業効果が発揮されるよう促します。あわせて、市内文化団体、地元文化活動との連携、協働により優れた芸術文化活動の担い手の育成、芸術文化を通じた地域活性化を図ります。

このような事業への住民参加を促進するため、市民ニーズの把握に努めるとともに、民間事業者及び県民会館等関係機関との連携による新たな共催事業の実施についても検討を進めます。

〈第23回出雲総合芸術文化祭事業実施計画〉

事業区分	公演等事業名	開催月日(予定)
鑑賞事業 (招致事業)	こんにゃく座オペラ「森は生きている」	7月2日(日)
	能・狂言(仮称)万作の会	7月26日(水)
	工藤重典&リチャード・シゲル出雲特別公演	9月24日(日)
	宝くじまちの音楽会	11月10日(金)
	落語会(春風亭昇太)	2月11日(日)
自主事業	将棋フェスティバル	7月23日(日)or30日(日)
	出雲囲碁フェスティバル	8月5日(土)
	アートマネジメント事業	8月11日(金)
	伝統芸能プロデュース公演	9月3日(日)
	いずも音楽コンクール	11月25、26日(土、日)
	いずも新春コンサート	1月7日(日)
	出雲の春音楽祭2018	3月18日(日)、25日(日)
	職員派遣事業	調整中
(共催事業)	サウンドフェスタ大心路	9月3日(日)
	出雲神在月芸術文化の祭典	10月15日(日)
展示事業	公募展優秀作品展	2~3月で調整中
	工芸展	2~3月で調整中

## (2) 出雲芸術アカデミー事業

出雲芸術アカデミーは平成17年10月に開設され、子どもの頃から芸術文化に触れ、学ぶことができる機会を提供し、芸術文化を通して創造性に富み感性豊かな青少年の育成を図ること、更に地域の芸術文化を支える指導者の育成及び広く市民の積極的な芸術文化活動への参加を促すことを目的として事業運営に取り組んでいます。

音楽院では幼児から高齢者までを対象に器楽、声楽の講座を継続して実施し、成果発表の場として演奏会を開催します。平成29年度から初めての人を対象としたコースをリニューアルし、幼児科の親子リトミックコースを幼児科・音楽入門コース、本科のリトミックを本科・音楽入門コースと名称を変えて、音楽の基礎から習得できることをPRします。

また、音楽研究院では講師の技術研鑽に努め、市内小学校や幼稚園・保育園、また福祉施設等へのアウトリーチ活動の更なる充実に取り組み、楽器体験、生演奏の鑑賞、

演奏指導など音楽の普及啓発、技術の向上に努めます。

演奏会では、「出雲フィルハーモニー交響楽団」創設20周年記念 第21回定期演奏会として、「祝祭！～オーケストラで描く、夢見る男と白鳥の物語～」と題し、知名度のある選曲で、来場者・出演者皆さんに魅力的な演奏会を提供します。

また、出雲 Jr. フィルでは、出雲市における芸術文化の更なる発展を目指し、東広島市に遠征し、東広島市くららジュニアオーケストラの子どもたちと交流演奏会を行います。

〈講座運営〉

科	コース・講座・対象	定員
幼児科(通年)	音楽入門コース(3歳児、4～5歳児、6歳児及びその保護者)	200名
本科(通年)	音楽入門コース(音楽入門、小学1年生～3年生)	25名
	合唱コース(ジュニアコーラス 小学生4年生～高校2年生)	40名
	オーケストラコース(入門、オーケストラ 小学生～高校生)	125名
別科(通年)	コーラス・レパートリー(18歳以上)	70名
	オーケストラ・レパートリー(18歳以上)	60名
	邦楽合奏(18歳以上)	20名
特別講座	ジュニア日本文化講座(舞踊、箏曲)	10名

〈演奏会等事業〉

公演等事業名	開催月日(予定)
第12回ファミリーコンサート	4月16日(日)
出雲フィルハーモニー交響楽団創設20周年記念 第21回定期演奏会 (出雲芸術アカデミー・オーケストラ・セミナー2017夏)	7月17日(月・祝) (7月15日(土)～)
出雲 Jr. フィル・プロムナードコンサートV	11月12日(日)
出雲 Jr. フィル・東広島市くららジュニアオーケストラ交流演奏会	12月24日(日)
うたなかまこんさーと2018	1月28日(日)

・アウトリーチ活動

市内の幼稚園、保育園、小学校や病院、福祉施設等30か所程度に出雲芸術アカデミー講師が出向き、生演奏や、楽器体験、演奏指導などを行います。

子どもたちの音楽芸術への関心にとどまらず、創造性と感性を高め、人間性豊かな人材育成につながる出雲芸術アカデミーの広報と裾野の拡大を目指します。

・指導者育成支援事業

音楽研究院にてアカデミー講師の学術研究、指導者育成、音楽芸術活動支援を行います。

**(3)出雲メセナ協会事務局に関する事務**

出雲メセナ協会は、平成10年に出雲市内の企業や個人が出雲地域の芸術文化の普及、向上、発展に寄与することを目的に設立されました。主な活動は、会員の会費を原資とした出雲地域で開催される芸術・文化活動への財政支援などです。

〈組織〉 会員数 229名（平成28年12月31日現在）

〈事業〉 ① 芸術・文化活動財政支援事業（年2回募集）

② 基金事業・・・小中学校等への芸術家派遣事業

③ PR事業・・・メセナ協会だよりの発行（年1回）

④ 共催事業・・・出雲総合芸術文化祭事業

**2 博物館事業（出雲文化伝承館・平田本陣記念館）**

出雲文化伝承館及び平田本陣記念館では、「出雲市芸術文化振興指針（第2次）」および国の「文化芸術に関する基本的な方針（第4次方針）」等を踏まえながら、出雲地方や我が国の優れた美術工芸、歴史、民俗等の資料の収集、保管及び展示に関する事業を一体的に実施し、出雲文化の魅力を紹介するとともに郷土に自信と誇りをもつことのできる事業展開に取り組みます。また、和文化まつりなど市民参加型の事業を企画し、郷土で大切にされている伝統文化や芸術文化に触れる機会を提供するほか、子どもや大人対象の教室、講座、講演会等を通して芸術文化の多面的な振興に努めます。あわせて、事業について広くホームページやフェイスブックなどで紹介し、出雲の文化力を広く発信します。また収入増をはかるため、補助金の獲得や協賛広告を募るなど財源確保に努めます。

**(1)展示事業**

出雲文化伝承館及び平田本陣記念館では、出雲地方の豊かな歴史や芸術文化の人的、文化財的な資産を活用、継承、発展を目指します。平成29年度は展示事業として両館で12回の展覧会を開催します。伝承館では「出雲市友好交流都市 津山市・諫早市 三市交流展」、「大野明山木彫展」等を企画して、県内外の優品を紹介するとともに文化交流に取り組みます。

本陣記念館では、「水森壱土展」、「梶谷胖展」などを開催し子どもから大人まで楽し

める幅広い内容と地元志向の芸術文化に触れていただきます。また本年度も展覧会にあわせ講演会、ギャラリートーク及びワークショップなどを企画して多面的に展覧会の内容を深めます。

### ①出雲文化伝承館

展覧会名称（仮称）	開催期間（予定）	内 容
一海のシルクロードに花 開くー インドネシア染織の世 界	4月1日（土）～ 5月14日（日） 《公開39日》 （平成28年度からの 継続事業）	インドネシアの染織は、古くから日本の数寄者から「唐物」「ジャワ更紗」などとして親しまれてきました。本展ではインドネシアの染と織の美を紹介するとともに、山陰の絣織と出雲の筒描藍染や幻の板締も展示します。
大野明山木彫展	6月3日（土）～ 7月9日（日） 《公開32日》	高瀬川二京橋の大梶七兵衛像の作者でもある大野明山は出雲市に生まれ、荒川嶺雲、高村光雲などに師事して日本美術院展覧会などで活躍し、やがて戦争のため帰郷し郷土で悠々と制作に励みました。明山の木彫芸術を紹介します。
郷土の洋画家展	7月22日（土）～ 9月10日（日） 《公開44日》	出雲地方では戦後、洋画が盛んとなり中央から優れた指導者を講師に招くなどし洋画の魅力を普及してきました。本展では昭和初期から現代までの当市ゆかりの洋画家たちを紹介します。
洋画家 原孝夫 回顧展	6月17日（土）～ 7月2日（日） 《公開14日》 文化工房	原孝夫は昭和2年に出雲市に生まれ、国鉄に勤める傍ら洋画を春日為義に師事し、東光展や日展にも入選するなど独自の画境を築きました。没後3年にあたり回顧展を開催します。
出雲市友好交流都市 津山市・諫早市 三市交流展 ー交流35周年 津山市、 諫早市の歴史と文化ー	10月14日（土）～ 11月26日（日） 《公開38日》	出雲市は津山市、諫早市と昭和56年に三市友好交流都市提携を結んで以来、連携を深め、また交流をすすめてきました。このたび交流35周年を迎え、市民間の文化交流を深めるため、津山市

		と諫早市の歴史や文化を紹介する展覧会を開催します。あわせて講演会等を開催し三市の交流を深めます。
新春屏風展	1月13日(土)～ 2月18日(日) 《公開33日》	新春を寿ぎ、愛好家所蔵の屏風を中心に展示し大画面の書画の魅力を紹介します。あわせて「出雲の大国さま」を展示します。
—現代の巨匠30人— 花と緑の日本画展	3月24日(土)～ 3月31日(土) 《公開7日》 (5月中旬までの継続事業)	日本人は古くから花鳥風月を愛してきました。本展では東京、佐藤美術館所蔵品から「花と緑」をテーマに、現代日本画の巨匠の名品を紹介します。会期中には恒例早春の茶会を開催予定。

## ②平田本陣記念館

みずもりあど 水森亜土展 —亜土ちゃんのドキドキ・ワクワクの世界—	4月8日(土)～ 5月14日(日) 《公開32日間》	イラストレーター水森亜土氏は、NHKの歌のおねえさん、「ひみつのアッコちゃん」、「Dr. スランプアラレちゃん」の歌手としても知られる多彩でキュートな作家です。亜土ちゃんのドキドキ・ワクワクの世界を紹介します。
平田高校創立100周年記念 かじたにぼん 梶谷胖展 —包括するかたち—	5月20日(土)～ 7月30日(日) 《公開62日》	平田地域出身の陶芸家、梶谷胖氏(茨城県石岡市在住)は、コロンバス芸術大学陶芸科元主任教授を経て、茨城県立医療大学非常勤講師、国際陶芸アカデミー会員(スイス)として国際的に活躍されています。氏の繊細かつダイナミックな作陶を紹介します。

サブカルチャー黎明期の 鬼才  いしはらごうじん <b>石原豪人展</b> —出雲が生んだ戦後日本 を代表する挿絵作家—	8月11日(祝・金) ～10月15日(日) 《公開57日》	大社出身の挿絵画家、石原豪人氏は卓越した画力で大衆を魅了し続けました。少年誌では円谷英二・香山滋らの怪獣ブーム時代の挿絵、少女誌では江戸川乱歩などと組み、多くの挿絵を描きました。没後20年にあたり改めて顕彰します。
<b>錦織恭一展</b> —絵画にささげた生涯—	11月3日(祝・金) ～1月21日(日) 《公開64日》	県立女子短期大学名誉教授であった、洋画家、錦織恭一氏(斐川町生まれ)。平田の油彩グループ「木曜会」の指導者としても、郷土の後進を育てました。没後10年にあたり、氏の画業を顕彰します。
<b>郷土の南画家展</b> —館蔵品を中心に—	2月17日(土)～ 3月18日(日) 《公開26日》	出雲には江戸時代から明治、大正にかけて南画家が来雲し、様々な優品を遺しています。館蔵品を中心にそれらの南画家を紹介します。

## (2) 出雲和文化交流会事業

市内の伝統文化関係団体の協力を得て、出雲和文化交流会との共催で11月に第15回目の「出雲和文化まつり」を文化伝承館で開催します。(茶会、いけ花展示、特産品販売等)

## (3) 郷土資料調査活用事業

伝承館、本陣記念館が寄贈、寄託を受けた歴史、文芸資料の整理、目録作り、撮影、解説を行い、今後の展示事業への活用を図るため調査、研究、整理を行います。

平成27年度から5年計画で本陣記念館蔵の木佐家文書を整理しており、平成32年度にはこの成果を展覧会で発表予定です。また他の旧家等の古文書についても調査活用を行います。

## (4) 呈茶事業

お茶の文化が古くから伝わる出雲において、茶道文化の伝承と普及を図るため、出雲文化伝承館の茶室「松籟亭」、平田本陣記念館「庭園鑑賞ホール」で、お抹茶を味わっていただきます。あわせて、茶道各流派の茶会及び学校児童等による茶道催し等に連携支援し貸出します。

## (5) 文化財保存公開事業

出雲文化伝承館では、出雲市指定文化財である出雲屋敷等の施設の公開と活用を図

り、出雲流庭園、独楽庵及び松籟亭と一体となった落ち着いた景観の維持管理に努め、くつろぎの中で伝統建築を理解していただきます。

また、平田本陣記念館では県内では稀に残る御成り屋敷と米国の日本庭園専門誌で32位と評価された庭園を中心に保存公開し、特色ある出雲文化の伝統を紹介します。さらに本陣記念館では、引き続き来館の市内小学校児童へ民具の解説を行います。あわせて両館では市民所蔵の美術品等の保存活用等について、専門的な支援を行います。

#### (6) 共催事業

①出雲文化伝承館 第26回 早春の茶会 3月末予定

市内各流派による茶会、不昧公没後200年記念茶会

### 3.貸館事業

出雲市民会館をはじめ財団が管理する6つの施設は、多くの市民に親しまれる地域文化振興の拠点として、財団自主事業や各種文化団体による上質な演劇・演奏を鑑賞する機会、また、広く市民を対象とした講演会や発表会の場として提供し芸術文化の振興を図ります。

施設の貸出しにあたっては、当該館の施設のみならず他館の特徴もよく掌握し、利用者のご要望にお応えするとともに適切かつ効率的な貸出しに努めます。

また、各施設建設後の年数が経過しており、建物、設備、備品いずれも保守・点検と大事に至る前の小修繕を適時適切に行うなど維持管理が特に重要となってきています。

#### (1) 出雲市民会館

出雲市内のメインホールとして、1,210席の大ホール、大小会議室、展示室、多目的室など地域の文化センターとして多くの観客が入場でき、催し物・会議・展示会など利用者のご要望にお応えし、有効にご利用いただけるよう努めます。

なお、大ホールは、吊り天井耐震工事のため平成30年1月16日から9月30日まで使用一時休止となります。利用者みなさまには多大なご迷惑をおかけしますが、何とぞご理解賜りますようよろしくお願いいたします。

#### (2) ビッグハート出雲

JR及び一畑電鉄出雲市駅南側に近接した利便性の良さ並びに市民参加型の催しに適した、白のホール、黒・茶のスタジオ、アートギャラリーなど、多彩な施設を活かし、今後も芸術文化活動をはじめ学会、研究会、打合せ会などの会議にも引き

続きご利用いただけるようPRに努めます。

(自主事業)

平成29年度は、2年間中断していた当館の登録文化団体（パッチワーク、日本刺繍など）の作品展を実施します。

### (3)平田文化館

プラタナスホール（大ホール）は、電動移動観覧席により406席から813席まで自由な座席設定が可能で、講演会やコンサートにご利用いただけます。また、座席を収納すれば173坪のフラットなスペースとなり、展示会やパーティー、軽運動など多様な催しに幅広くご利用いただいております。そのほか小ホール、会議室、和室、応接室を備えており、地域の文化活動の拠点として施設の特徴を活かし、また利用者のご要望に応え、有効にご利用いただけるよう努めます。

### (4)大社文化プレイスうらら館

600席のだんだんホール及び200人の収容が可能なごえんホールを有する市内の中規模文化施設として、利用者に有効に、かつ親しみをもって使っていただけるよう、利用者の立場に立った業務を行ってまいります。また、大社図書館との複合施設である特徴を活かし、地域の文化拠点として愛されるよう、地域の文化団体等との連携を大切にしながら貸館業務を推進します。

各所に経年劣化による対応が必要な部分が見受けられるようになってきましたが、利用者の安全を第一に対応を心がけます。

また、利用料の改定から1年以上経過したものの、引き続き利用者の皆様には丁寧な説明し、ご理解いただけるよう努めます。

### (5)出雲文化伝承館

出雲屋敷、企画展示室、茶室「松籟亭」、出雲文化工房及び縁結び交流館の貸出しについて、利用者の皆様のご要望にお応えしつつ、出雲文化を伝承・継承を図る目的に沿い適切に対応することとし、多様で特色ある施設を有効にご利用いただけるよう努めます。

(自主事業)

伝統文化の普及・継承を目的に子ども教室、大人対象の教室、文化講座等を開催します。

#### ①各種教室・講座

##### ア. こども教室

夏休みなどを中心に、絵画、陶芸など様々な美術、工芸、和文化などを体験する教室を開催し、出雲市の将来を担う子どもたちの感性を育て郷土愛を深めます。

(和菓子作り、お抹茶体験教室、学校茶道合同茶会、やきもの教室、水彩画教室、いけばな教室、注連縄作りなど)

イ. 文化講座（一般対象）

絵画、陶芸教室などの芸術文化、伝統文化を体験する講座を開催し、その理解や普及を図ります。

（絵画教室、やきもの教室、掛け軸教室など）

**(6) 平田本陣記念館**

本館、展示館、茶室等の公開と貸出しについて、利用者のご要望にお応えし、有効にご利用いただけるよう努めます。

**(自主事業)**

本陣としての特色を活かし伝統文化の普及、継承を目的に子ども教室、大人対象の教室などを開催します。

**① 教室・講座**

ア. 子ども教室

夏休みなどを中心に茶道、陶芸など様々な美術、工芸、和文化などを体験する教室を開催し、郷土の将来を担う子どもたちの感性を育て郷土愛を深めます。

（茶道・華道・書道教室、陶芸絵付け教室 など）

イ. 文化講座（一般対象）

伝統文化を体験する教室を開催し、その理解や普及を図ります。また、郷土への理解や愛着を深めるための講座を開催します。

（掛け軸教室、茶道教室、平田地域の風土や歴史に関する講座など）

**(7) 管理施設の概要**

管理施設名	主な施設	利用案内
<b>出雲市民会館</b> （塩冶有原町 2 丁目 15） TEL 24-1212	大ホール(1, 210 席)	コンサート、演劇他各種公演、伝統芸能、式典、講演会、小・中・高校生の音楽練習ほか
	展示室(243 m <sup>2</sup> )	各種作品等の展示
	多目的室(82 m <sup>2</sup> )	音楽団体等の練習会場、会議用、展示用
	会議室(5 室)	セミナーや講座、企業や団体の会議・研修用
<b>ビッグハート出雲</b> （駅南町 1 丁目 5） TEL 20-2888	白のホール (341 席)	学会、講演会、研修会、コンサート、教室・学校の発表会、音楽練習ほか
	白のホール控室(54. 34 m <sup>2</sup> )	
	茶のスタジオ(122. 47 m <sup>2</sup> )	講演会、会議、研修会、音楽練習ほか

	黒のスタジオ(139.48 m <sup>2</sup> )	舞踊・ダンス・音楽の練習、会議、研修会ほか
	アートギャラリー(263.78 m <sup>2</sup> )	作品展示ほか
	会議室(60.67 m <sup>2</sup> )	会議、面接、研修会ほか
	練習室(25.21 m <sup>2</sup> )	個人練習、バンドの練習、レッスン、ワークショップほか
	レセプション(91.2 m <sup>2</sup> )	会議、研修会、レセプションほか
	文化サロン(183.50 m <sup>2</sup> )	ミーティング、作業、市民、各種団体の相互交流の場
<b>平田文化館</b> (平田町 2112 - 1) TEL 63-5030	プラタナスホール(406 席 ~813 席) 平土間(173 坪・座席収納 時)	講演会、研修会、コンサート、映画上映会、作品展、展示会場、パーティー会場、軽運動場
	小ホール(110 席)	講演会、会議、研修会、講習会、控室(楽屋)、絵画作品展
	会議室(2 室)	会議、研修会、講習会、控室(楽屋)
	和室(2 室)	会議、研修会、控室(楽屋)等
	応接室	小会議、控室(楽屋)等
<b>大社文化プレイス うらら館</b> (大社町 杵築南 1338 - 9) TEL 53-6500	だんだんホール(600 席)	講演会、会議、音楽会・発表会、映画、演劇、歌謡曲、クラシック、伝統芸能、練習ほか
	ごえんホール(200 席)	講演会、会議等、音楽会・発表会、歌謡曲、クラシック、作品展示、伝統芸能、練習、コンクールほか
	会議室(3 室)	会議、研修会、レセプションほか
<b>出雲文化伝承館</b> (浜町 520) TEL 21-2460	出雲屋敷(356.6 m <sup>2</sup> )	見学、茶会、結婚披露宴前撮りほか
	茶室「松籟亭」(150.82 m <sup>2</sup> )	呈茶、茶会、香会
	文化工房(438 m <sup>2</sup> )	展示、作品展、陶芸教室、書道教室ほか
	企画展示室 (展示棟 580.8 m <sup>2</sup> )	企画展、特別展等

	縁結び交流館 (503 m <sup>2</sup> )	音楽練習、コンサート、講演会、会議、ダンス、軽スポーツほか
平田本陣記念館 (平田町 515) TEL 62-5090	本館	花生け展、茶会、地域イベントほか
	展示館	美術品等展示
	茶室	茶事ほか

## II 収益事業

次の(1)から(6)までの施設の貸出しにおいては、営利を目的とするホールの施設や物販等の利用のための貸出しを収益事業とし、利用者のご要望にお応えし、有効にご利用いただけるよう努めます。

### 1. 貸館事業

#### (1) 出雲市民会館

ホール、楽屋、控室、展示室、多目的室、会議室

#### (2) ビッグハート出雲

ホール、スタジオ、会議室、スタッフ控室、アートギャラリー、文化サロン、レセプションスペース

#### (3) 平田文化館

ホール、楽屋、会議室、和室

#### (4) 大社文化プレイスうらら館

ホール、楽屋、テラス、ラウンジ、学習室、会議室

#### (5) 出雲文化伝承館

展示、茶室、指定文化財庭園等、多目的ホール

#### (6) 平田本陣記念館

本館、展示室、茶室

### 2. チケット販売等物販事業

(1) 各プロモーターが行うイベント等に係るチケットの販売等を行います。

(2) 企画展等において、受託販売物や図録等の販売を行います。

### 3. 大社図書館管理運営事業

大社文化プレイスうらら館との複合施設である大社図書館の清掃、空調整備、修繕、消防点検及び警備等の管理運営を適正かつ効率的に行います。